

小惑星イトカワの微粒子公開について

◎光学顕微鏡による観覧についてのご案内

小惑星探査機「はやぶさ」が平成22年6月に地球に帰還し小惑星イトカワから持ち帰った微粒子について、宇宙航空研究開発機構（JAXA）のご協力により、7月17日（水）から常設展示として一般公開いたします（期間限定ではありません）。

光学顕微鏡をのぞき、ご自身の目で微粒子をご覧いただけます。また、光学顕微鏡により拡大された画像を大型モニターでもリアルタイムに映し出します。光学顕微鏡をとおして微粒子を観察できる世界で唯一の常設展示となります。

光学顕微鏡をとおして観察できる人数には1日あたりの上限数を設けています。観察ご希望の方は、地球館2階 日本の宇宙開発コーナーへお越しいただき、誘導スタッフが案内する場所に整列し、待機していただきます。必ず観察を希望されるご本人がお並びください。

一般公開日当初や週末は混雑が予想されるため、観察できる上限数に列が達した場合は、列に並べない場合があります。大型モニターでは常時ご覧いただけます。

展示場所：地球館 2 階 日本の宇宙開発コーナー

1日あたり観察できる人数：

400名（17:00 閉館）

450名（18:00 閉館）

550名（20:00 閉館）

